

富山県教育DX推進会議

富山県教育委員会

第2回

富山県教育DX推進会議

坪池教育CIO・CDO
挨拶

富山県教育DX推進会議の設置

富山県教育委員会

社会全体がDXに取り組む中、
教育環境をデジタル化するだけでなく、デジタル技術を活用し

- ・ 児童生徒の力を最大限に引き出す
- ・ 業務の効率化など教育環境の負担軽減を図る

など、教育をより良い方向に変革していくことが必要



「富山県教育DX推進会議」を設置

教育のDXを総合的・計画的に推進

富山県教育DX推進会議 体制図

教育DX推進会議

【座長：教育CIO・CDO】 坪池次長

【副座長 成瀬 喜則 (教育分野：大学)
教育CIO・CDO補佐】 林 雅弘 (技術分野：民間)
半田 嘉正 (行政分野：県)

【委員】 教育委員会室課長 (6名)
総合教育センター所長
東部・西部教育事務所長
行政デジタル化・生産性向上課長 (民間)

アドバイザー：

- ・藤重 佳代子氏 (前教育委員)
- ・上坂 博亨氏 (富山国際大学
現代社会学部教授)
- ・山本 朋弘氏 (中村学園大学
教育学部教授)

出席 (年3回)、助言

進捗状況の定期報告、相談 (随時)
→ 助言

ICT活用推進・指導力向上部会

【部会長】 県立学校課長

【副部会長】 小中学校課長

【委員】 関係課担当者

県立学校教員

ICT環境整備部会

【部会長】 教育企画課長

【副部会長】 県立学校課長

【委員】 関係課担当者

県立学校教員

校務支援システム検討部会

【部会長】 教育企画課長

【副部会長】 県立学校課長

【委員】 関係課担当者

県立学校教職員

協議事項について

	内容	協議事項（検討テーマ）
第1回 6月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの現状報告 （これまでの主な取組状況及びR③の主な取組について） ・CIO補佐、アドバイザーからの助言 	<ul style="list-style-type: none"> ①学校のICT環境の整備 ②教員のICT活用指導力向上、人材確保 ③統合型校務支援システムの導入
第2回 10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・部会での検討状況報告 ・CIO補佐、アドバイザーからの助言 	<ul style="list-style-type: none"> ④対面指導と遠隔・オンライン教育の適切な組合せによる新しい教育様式の実践 ⑤障害のある児童生徒等への教育環境の整備 ⑥学校で学びたくても学べない児童生徒への遠隔・オンライン教育の活用
第3回 12月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・部会での検討状況報告 ・CIO補佐、アドバイザーからの助言 ・学校教育情報化推進計画案の検討 （国の学校教育情報化推進計画の策定状況を踏まえて） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦個人情報の保護など情報セキュリティの管理 ⑧デジタル教科書・教材等の普及促進 ⑨ICT活用による学習の継続的な支援 ⑩様々な教育データを蓄積・分析・利活用するための環境整備

議 事

(1) 部会での検討状況

- 第1回推進会議を受けて -

(2) 部会での検討状況

- 今回の検討テーマについて -

(3) 教育CIO・CDO補佐、アドバイザーからの助言

議 事

(1) 部会での検討状況

- 第1回推進会議を受けて -

部会での検討状況 - 第1回推進会議を受けて -

① 校務支援システム検討部会

1 第1回教育DX推進会議

＜教育CIO・CDO補佐、アドバイザーからの助言＞

- ・ 先生の働き方改革に繋がる校務支援システムの導入は非常によいものであり、どんどん活用していただきたい。
- ・ 統合型校務支援システムは、事務的な作業量が明らかに軽減されたと感じられるような使い方を考えていかなければならない。また、学校が変わっても、同じシステムであれば、先生方もストレス無く運用できる。
- ・ デジタル教材を総合教育センターで扱っているが、回線が古く、ボトルネックになっていて、そういうインフラがちょっと古めになっているようなので、見直すべき時期ではないか。

2 教職員へのシステムのデモンストレーション

＜参加者の主な意見＞

- ・ 今までは2・3年次の指導要録を手書きしていたので、電子化できる機能があるのは大変ありがたい。
- ・ 異動するたびにシステムが違っていて煩わしかったので、統一されるとありがたい。
- ・ 帳票の様式も異なっていたので、これを機会にある程度統一してほしい。
- ・ 現在使用している成績処理システムの業者契約年数が切れ、令和4年度の学習指導要領改訂に対応できなくなるため、早くシステムを導入してもらいたい。

部会での検討状況 - 第1回推進会議を受けて -

① 校務支援システム検討部会

3 令和3年9月議会

統合型校務支援システム等の導入経費を予算計上(266,500千円)

システム名	導入前	導入後
統合型校務支援システム(新規)	学校毎にエクセルやシステムを別々に導入し、成績表の作成などを実施	教務、保健、学籍、進路、事務など、広く校務を実施するための機能を有する。
研修申請システム(更新)	研修申込の電子申請	オンデマンド研修機能を追加
教育安全メールシステム(更新)	校内のパソコンから保護者へメール発出	コロナや大雪等の災害時に備え、校外からのメール発出機能を追加
ホームページシステム(更新)	学校で、自校のホームページを管理・作成	・外国人の保護者向け多言語対応 ・スマホ、タブレットからの閲覧対応

※県立学校分

4 今後の導入スケジュール

令和3年度 システム調達・構築
令和4年度 段階的導入
令和5年度 本格稼働

部会での検討状況 - 第1回推進会議を受けて -

② ICT環境整備部会(学校のICT環境の整備)	
【現状】	【課題・対応の方向性】
<p><ネットワーク> ○遠隔・オンライン教育環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内のどこでも、タブレット端末が使いたい。 ⇒ 校内の無線APのさらなる増設 ・教育クラウドの利用時に、インターネット回線が足りるか不安 ⇒ インターネット回線増速等
<p><ハードウェア> ○1人1台タブレット端末</p> <p>○電子計算組織</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末の卒業生の端末を新入生に引き渡す方法 ⇒ タブレット端末の初期化作業の外部委託について検討 ・将来的なBYOD端末の導入について ⇒ BYOD端末を利用できる環境整備について ・画面が大きいパソコンが欲しいことがある。 ⇒ 1人1台タブレット端末導入後の電子計算組織のあり方について(継続検討)
<p><ソフトウェア> ○特別支援教育用アプリの整備</p> <p>○グループウェアの活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なアプリが多様で、インストール対象が異なる ⇒ MDMを活用した端末管理を検討 ・グループウェアが持つ便利な機能を全学校で使えないか。 ⇒ ワークフローなど、グループウェアのさらなる活用方法を検討

部会での検討状況 - 第1回推進会議を受けて -

③ ICT活用推進・指導力向上部会

教員のICT活用指導力向上、人材確保

【現状】	【課題・対応の方向性】
<p><推進体制、人材確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校における推進体制 ネットワーク管理者、ICT教育推進リーダー等 ○ICT活用研究の推進 各学校における公開授業・互見授業、研究協議の開催 ○外部人材 GIGAスクールサポーター、ICT支援員 ○総合教育センターによる学校への支援 	<p><県立学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ごとに利活用の程度や教員のスキルに差 ・1人1台端末体制における運用実績がなく、県教委・学校ともに手探り状態 ⇒ 情報(ネットワーク関係)の専門的知識を持つ教職員を育成する体制の構築 ⇒ 外部人材の効果検証、今後の活用方針の検討
<p><研修体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ○県立学校課 高校、特別支援学校対象 ○小中学校課 小中学校、特別支援学校対象 ○総合教育センター 情報教育訪問研修等 ○富山大学データサイエンス推進本部との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・各所属ごとに研修を企画・実施 ⇒ 研修メニューを体系的に再整理 ⇒ 研修方法(オンライン型、対面(集合)型、訪問型)の効果的な組み合わせを検討 ⇒ 各学校間での成功事例を共有化

議 事

(2) 部会での検討状況

- 今回の検討テーマについて -

部会での検討状況 - 今回の検討テーマについて -

③ ICT活用推進・指導力向上部会

対面指導と遠隔・オンライン教育の適切な組み合わせによる新しい教育様式の実践

【現状】	【課題・対応の方向性】
<p>< 県立学校 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 遠隔・オンライン教育環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> 無線LAN環境拡充 遠隔授業用機器 (Webカメラ、マイク等) 貸与用モバイルルータ ○ 教育用クラウドサービスの活用促進 <ul style="list-style-type: none"> 教育用クラウドサービス利用ガイドライン オンライン教育利活用ガイドブック 県による利用アカウントの一括管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 双方向型オンライン授業の実践経験が少ない学校がある ・ オンデマンド型配信用授業動画の作成経験が無い教員がいる ・ 教育クラウドの利用時に、インターネット回線が足りるか不安 ・ 教育用クラウドサービスの各機能や、当該機能を用いた実際の授業での活用方法に対する理解不足 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 訪問型研修、授業実施時のサポート等 ⇒ 授業動画作成マニュアル等の整備 ⇒ インターネット回線増速等 ⇒ 教育用クラウドサービス基本活用研修
<p>< 小中学校 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンライン授業を想定した研修の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ 先進事例の紹介や各市町村の情報共有の場を設置

部会での検討状況 - 今回の検討テーマについて -

③ ICT活用推進・指導力向上部会

障害のある児童生徒等への教育環境の整備

【現状】	【課題・対応の方向性】
<p><特別支援学校></p> <ul style="list-style-type: none">○1人1台タブレット端末(iPad)の配備○入出力支援装置の整備 点字プリンタ、音声文字変換システム、 視線入力装置、端末固定装具等○特別支援教育用アプリの整備 コミュニケーション(意思伝達)支援、 読み書き理解支援、スケジュール管理支援○特別支援学校におけるICT活用推進 校内推進リーダーの育成 (大学教授等専門家招聘研修の開催)、 学校が実施するICT活用研修への補助	<ul style="list-style-type: none">・ 遠隔授業用機器(Webカメラ、マイク等)未整備・ iPadの運用保守体制がWindows端末に比べて未成熟・ 必要なアプリが多様で、インストール対象が異なる <p>⇒ 遠隔授業用環境整備の検討</p> <p>⇒ MDMを活用した端末管理の検討</p> <p>⇒ 各学校間での成功事例を共有化</p>

部会での検討状況 - 今回の検討テーマについて -

③ ICT活用推進・指導力向上部会

学校で学びたくても学べない児童生徒への遠隔・オンライン教育の活用

【現状】	【課題・対応の方向性】
<p><県立学校・小中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ○遠隔・オンライン教育環境の整備 無線LAN環境の拡充、 遠隔授業用機器（Webカメラ、マイク等） 貸与用モバイルルータの整備等 ○教育用クラウドサービスの活用促進 教育用クラウドサービス利用ガイドライン オンライン教育利活用ガイドブック ○双方向オンライン環境による別室での遠隔 授業の実施 ○オンライン授業（面談）の実施 	<p><県立学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で学びたくても学べない生徒（不登校、病気療養など）への遠隔・オンライン教育の実践経験が少ない ⇒ オンライン授業を正規の授業として取り扱うことができる実施形態についての周知 ⇒ 不登校生徒に対するオンライン授業実施のためのマニュアル整備 ⇒ 不登校生徒の学びを補完するためのデジタル教材等に対する研究・検証
	<p><小中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 先進事例の紹介や各市町村の情報共有の場を設置

議事

(3) 教育CIO・CDO補佐、 アドバイザーからの助言

富山県教育DX推進会議

富山県教育委員会

第2回

**教育DX推進会議
閉会**